

唐土訓蒙圖彙

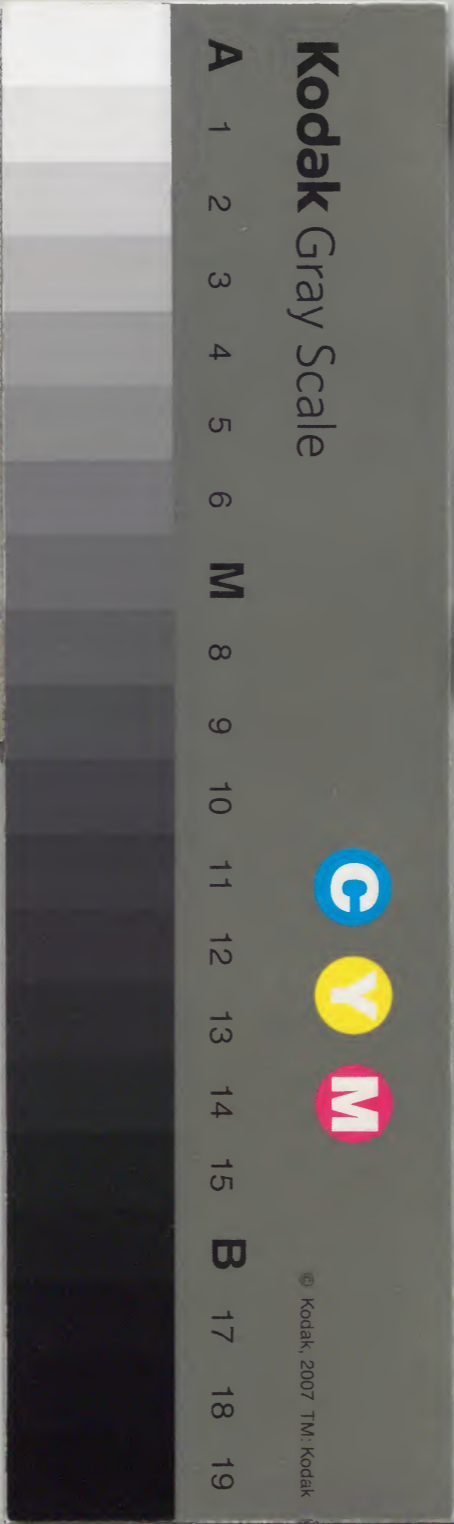
器用

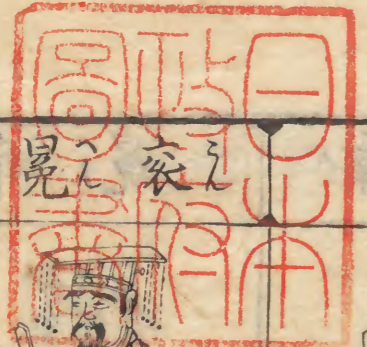
十

			一八六三	和書門
一五	一三	一八	二七	類
冊	架	函	號	

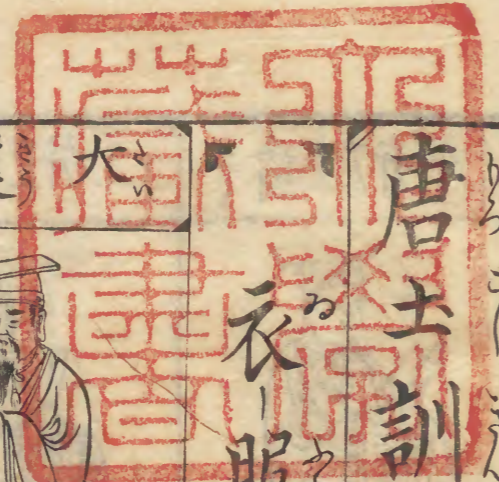
庫	文	閣	內	
一四		一八		和
函		六三		書
二四	一五	三七		類
架	冊	號		

內閣文庫			
番號	和	18637	
冊數	15	(11)	
函號	184	359	





冕 毳



冕 鷩

衣服儀制珍寶

唐土訓蒙圖彙卷之四 器用



冕之玄夫大卿



冕之衮公之上



服之燕



弁之爵



弁之章



冕之希



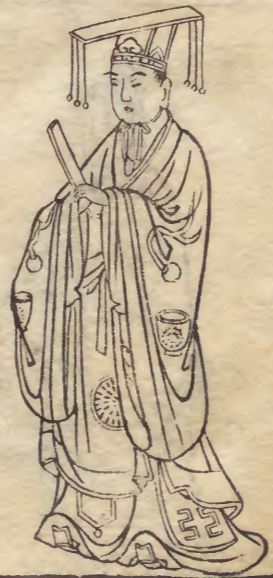
弁之皮士



冕之希孤



冕之毳男之



冕之鷩伯侯



端之玄



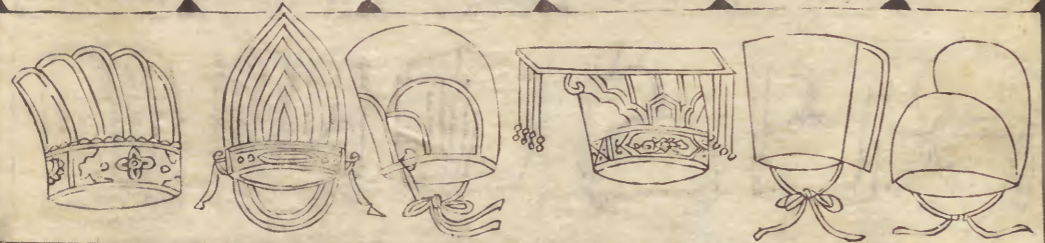
弁之皮



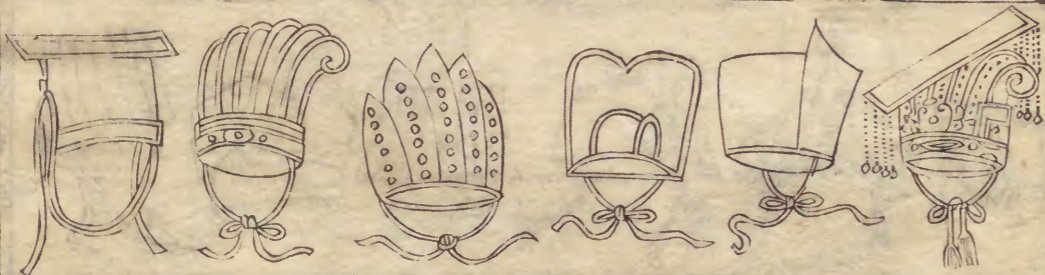
唐書卷一百一十一

大里才

冠_の緇 弁_の綦 冕_の麻 冕_の周 甫_の章 遊_の母



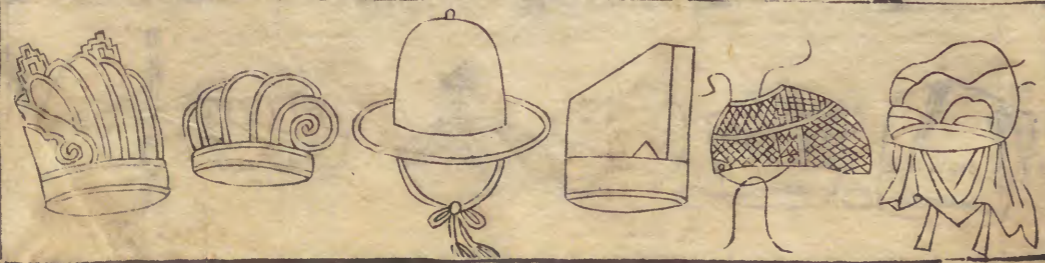
弁_の雀 弁_の皮 撮_の緇 冠_の贊 貌_の委 冕_の漢



衣_の面 帽_の唯 巾_の萬 冠_の贊 冠_の皮 笠_の臺



冠_の清 帽_の葛 帽_の大 巾_の儒 巾_の網 巾_の幅



服_の客 王_の白 衣_の展 祭_の先 色_の黒 衣_の禪 服_の色 狄_の青 揄_の



彼_の主 黒_の色 衣_の祿 彼_の右 色_の黄 衣_的鞠 彼_の祀 色_の小 狄_の關



唐書卷十

裳引の下体

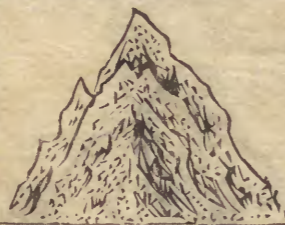
衣の上部の服



虞書 十ニ章



宗彝



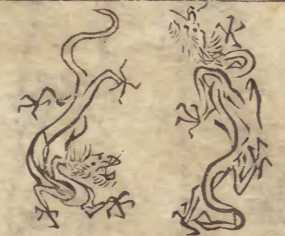
山



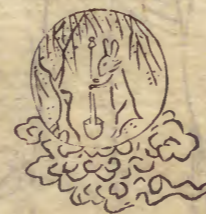
日



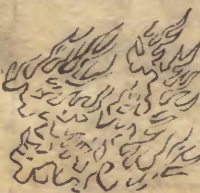
藻



龍



月



火

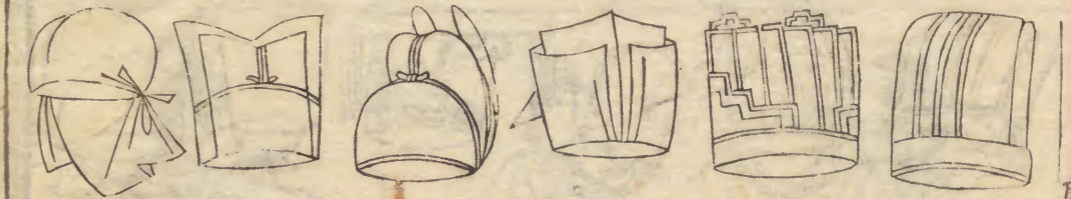


華虫



辰

巾周四 巾之裳 帽紵 帽東 巾之雲 巾之五



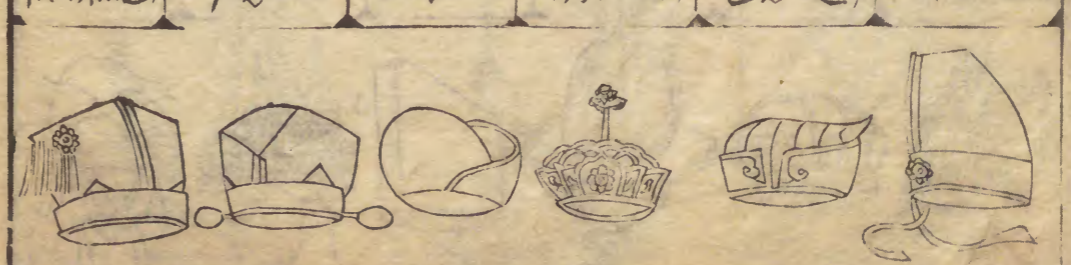
笠鬘 笠翅鳳 巾之結 巾之將 巾之老 巾之陽



帽之韃 笠之檀 帽之山三 冠之髮束 帽之糲纏 巾之貂金



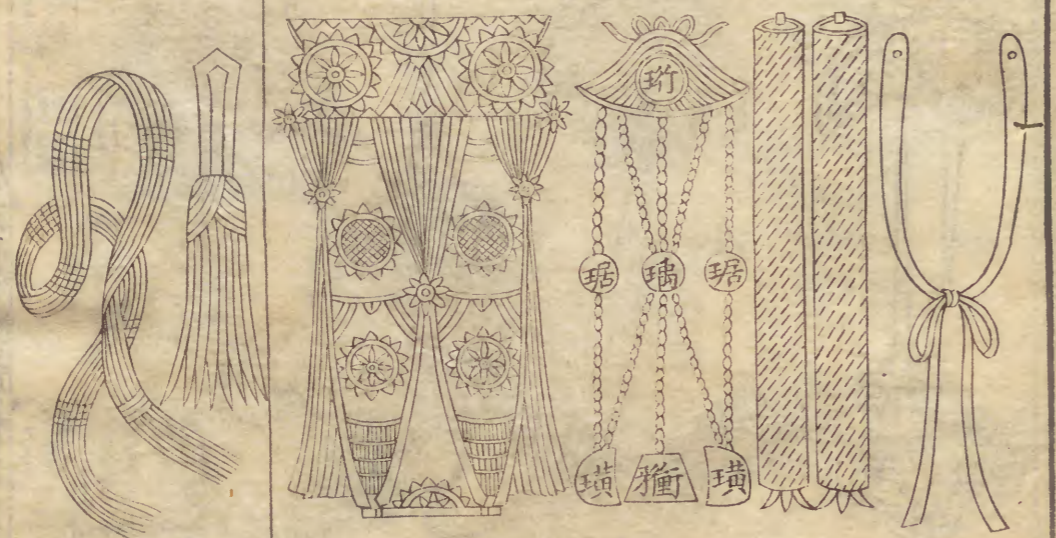
帽之隸皂 巾之吏 帽之蓉英 帽之雷 冠之道 巾之雷



唐五訓

三

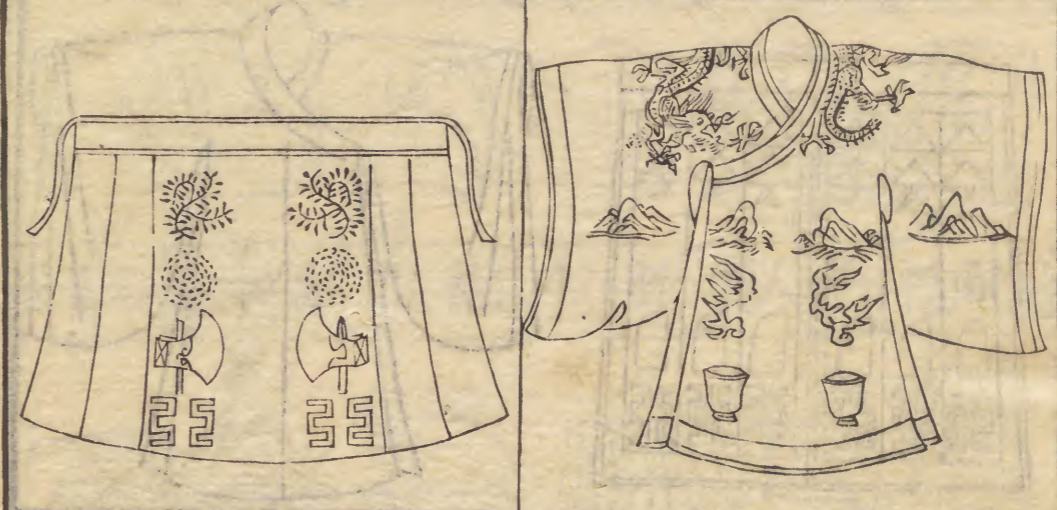
冠^{くわん}綾^{あや} 瑱^{てん} 雜佩^{ざがい} 綬^{じゆ} 縞^{こう} 帨^{すい}



籬^{さき} 大帶^{たいたい} 方領^{かうりやう} 曲領^{まがりやう} 竹度^{たけど} 觿^{すゐ}



圖^ず裳^{しやう} 繡^{しゆ} 罽^き 九^く 天子^{てんし} 圖^ず 衣^い 袞^{こん} 罽^き 九^く



狐^こ 裘^{しゆ} 罽^き 九^く 圖^ず 服^{ふく}



唐土訓蒙圖景卷十

人甲 頭 鑿 頰 項 身 甲 式 盔 兜 兜 甲



馬身甲

鷄項

馬甲 面 簾



冠 釵 花面 兩博髻 內外命婦冠服



道衣

僧衣

霞帔 釵



唐土訓蒙圖景卷十

蓋の黄の



斿の鏗の儀の



斿の戟の



斿の戈の



扇の雉の



蓋の華の



繖の大の



虎豹

天子の九章
門虎豹と
して衣の
を蔽ふの
衣と云ふ
これと帝
乃居る
衣の制
大に於今
あつては
虎豹と日
精月華
門の衣
つた明
も同
皮豹と各
園楯と用
えんと入
奉天門か
うつた



唐土訓蒙圖景卷十

馴象

晋の武
帝の時
南越王
が馴象
を奉り
宋の明
の代に
これを
うけし
明令と
奉天
門の衣
移し
依馬
漢より
天子の
衣と
なりし
なりし
兵衛



龍繒



朱雀幢



武武幢



龍龍幢



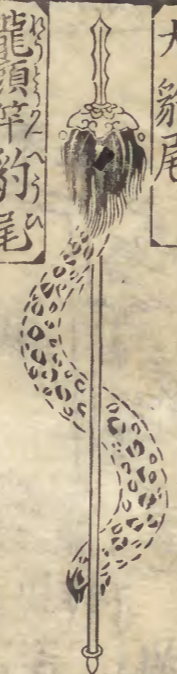
白虎幢



五明扇



大豹尾



龍頭竿豹尾



告止幡

御行止つゝ此幡と云ふ

傳教幡

御行速々今すゝに此と用ひ



信幡

信の旗と云ふと云ふ

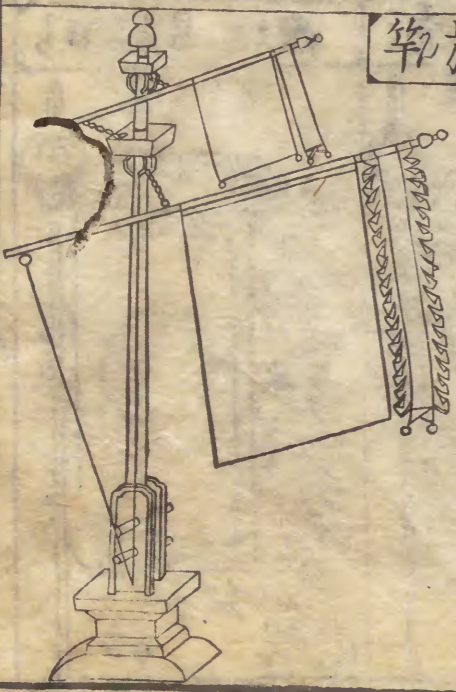


麾幡

二竿とて升龍と云ふと云ふ



竿旗



旗之雲



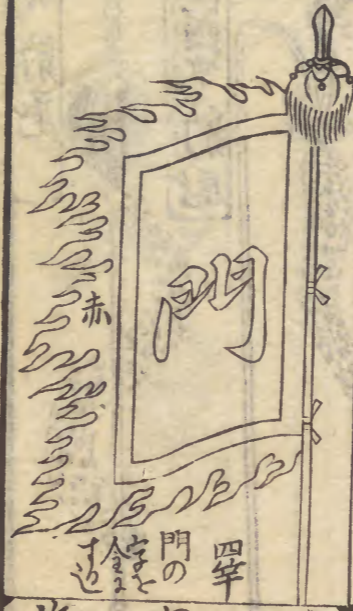
旗之玄武



旗之朱雀



旗之門



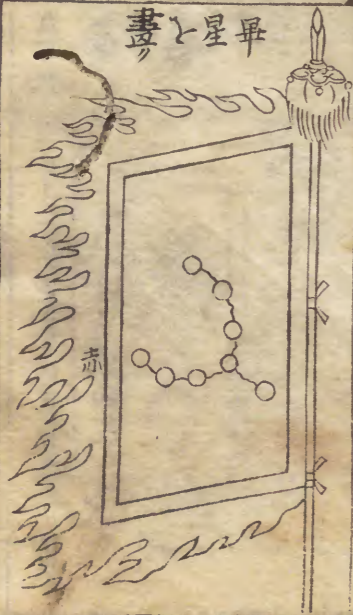
旗之斗北



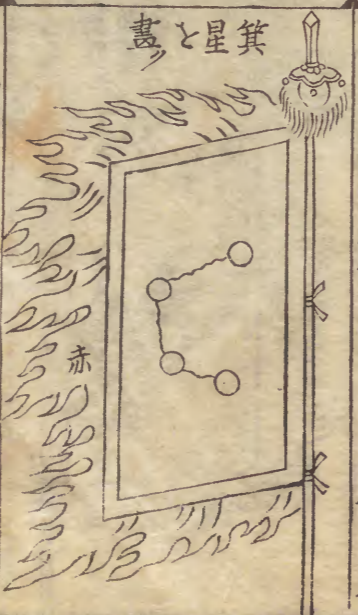
旗之龍



旗之雨



旗之風



旗之雷



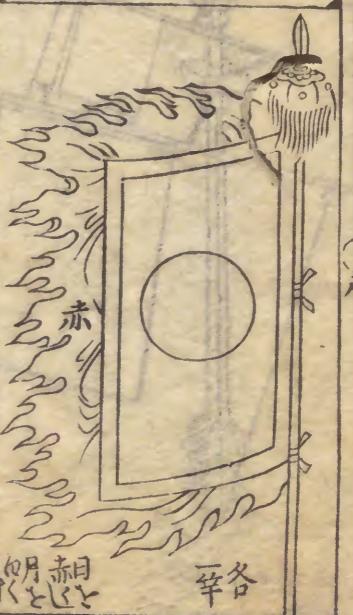
旗之虎白



旗之龍青



旗之月日



西三十三卷十

西三十三卷十

六

旗之鸞



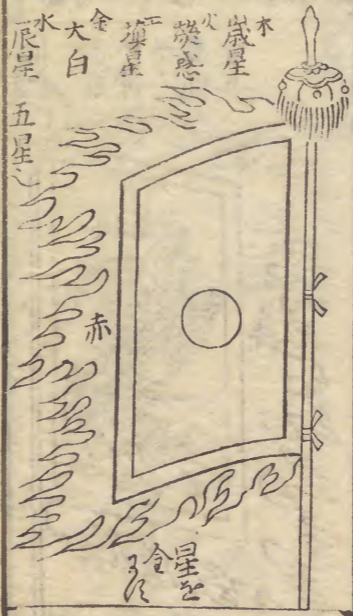
旗之羆



旗之熊



旗之五星



旗之嶽



旗之瀆



頭魁



相方

方相者防喪也自黃帝始俗號險道神周禮有方相氏大喪先置及墓入旗以戈擊四隅歐方良故葬家以方相先馳宋朝喪葬令有方相頭之別比皆是其品所當用而世以四目為方相之目為頭按漢世遂疫用頭亦方相之比也

旗之麟



旗之澤白



旗之馬天



旗之禄天



唐書禮志卷廿

珍寶

密陀僧

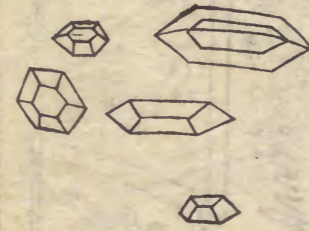
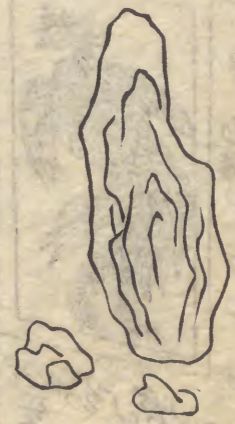
波斯國出
形黃龍齒
一似人牙
是活能死
乃感奇

善薩石

峨眉山公
主之靈白
月中之乳
照之佛國
之の如く
寶六稜
葉の

白石英

大さ指の塊
二三寸六面
光り白く
光り其赤
青黒の英
又一種紫色
とほる英



石膏月

軟硬の二種
理石ハ石膏
の一種理の
よく角硬
もの之種
長石之種

方解石

長石の類
一は白く
一は黄く
方石ハ
もの之種
石膏の類

不灰木

色白く
形桐木の如
して膠より
又一種膠
出つて葉
草の如く
て樹とほる
寸と塊の



無名石

石上子
状は炭
の如く
油と以
○が邦
とのハ
是なり

井泉石

饒陽都又
深泉城
出川田
比と大
元と好
方を短

蜜栗子

無名石の
状は栗の
判り上
全線
中れと
色は



石鍾乳

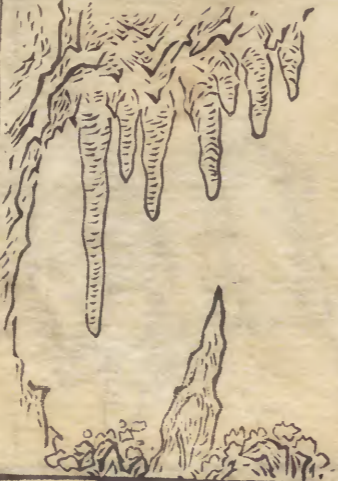
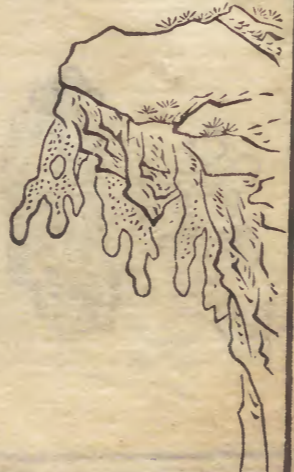
石の津液
わすり
とあり
石とほる
○が邦
まよ
是なり

土鼓

石の津液
わすり
とあり
石とほる
○が邦
まよ
是なり

禹餘糧

形牛黄の
如く中
細糸
蒲黄の
比沢又
よせ



空玉月

曾名と一也
分名今今の
掛名とよ相
空玉月
〇花掛まると
りハハ紅毛
目くろりつし
畫意用也

與石

毒石と殺品
あり白與石
蒼碧碧紫碧
紅碧桃花
金精銀精
特生碧俱
これ一物あり
此形を以
まるとり
買渡すつ
この全色
うして大茶
石のう方
なり



唐土訓夢回景卷十

波女沙石

海南山あり
五色像時
石光燦々
形とよ
時乃弁と
〇花掛まると
りハハ紅毛
目くろりつし
畫意用也

青礫石

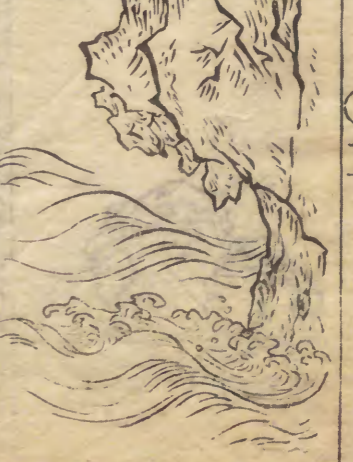
青白二種あり
まると佳
まると佳
まると佳
まると佳

花乳石

花乳石
花乳石
花乳石
花乳石

白羊石

白羊石
白羊石
白羊石
白羊石



〇十一

薑石

土石の間
生け状姜
の
夾々石
〇花掛まると
りハハ紅毛
目くろりつし
畫意用也

水中白石

水中白石
水中白石
水中白石
水中白石

石蟹

石蟹
石蟹
石蟹
石蟹



石蛇

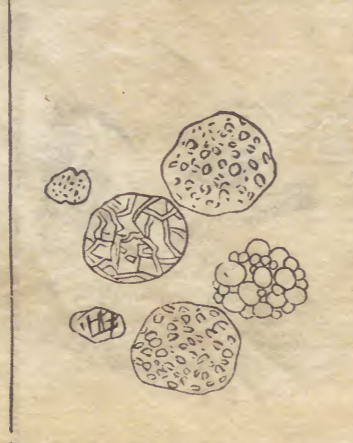
石蛇
石蛇
石蛇
石蛇

蛇黃

蛇黃
蛇黃
蛇黃
蛇黃

雷霹石

雷霹石
雷霹石
雷霹石
雷霹石



膠井

鄆北の井水
と以て考ると
真と云はれ
真膠と云はれ
真明膠と云はれ
皮と以てつる
活してうけ
よの上と云

火井

蜀のふも多し
そのとく和漢同
○が物紙はま
しきし加法考村
とよしむるとら
よくも良人の家
の物あり竹と
まてて上つり
まは火とついで
よはれ下の水と
別わらさし
切口もやけと
まは火と下の水



油井

石巻の油
より油と云はれ
たり油と云はれ
たり油と云はれ
たり油と云はれ
たり油と云はれ
たり油と云はれ
たり油と云はれ
たり油と云はれ
たり油と云はれ
たり油と云はれ

花紋石

南平縣子出
色あつて文
よれ山水禽
魚の状わり
○が物紙はま
しきし加法考村
とよしむるとら
よくも良人の家
の物あり竹と
まてて上つり
まは火とついで
よはれ下の水と
別わらさし
切口もやけと
まは火と下の水



山

